

入試要項別紙：学校教育研究専攻小学校教員免許取得プログラムについて  
静岡大学教育学研究科

静岡大学大学院教育学研究科の入試が変わります！  
小学校教員免許取得プログラム新設！

生きる力やPISA型学力の養成が強まる一方で、基礎的な学力確保への回帰の動きなど、新しい教育課題が次々に提示されています。また、小学校では教科の専門性も課題となっています。また、教員の一層の質向上のための教員養成6年生への議論なども進んでいます。

静岡大学大学院教育学研究科では、こうした教育界のニーズに答えるため、来年度から以下のように、入試および教員養成プログラムの改革を行いました。

**教員経験をさらにブラッシュアップ！ 現職教員・社会人にも広く門戸を開く特別選抜の実施**

これまで現職教員においては、20年以上の職歴を求めているものを3年以上にし、より多くの方が受験しやすくなります。社会人入試...職歴2年以上、教員特別入試...職歴3年以上

また、社会人入試においても英語を廃止し、小論文、専修別試験、口述試験（面接）のみとしました。

**専門学部での学習経験、社会人経験や一芸を、未来を開く子ども達の教育に生かしたい！**

**小学校教員免許取得プログラムの実施**

基礎的な免許を持たない入学者に対しても、3年間の在学によって学部の教職の単位を取得することで小学校教員免許取得が可能になる小学校教員免許取得プログラムを開始します。

想定される入学者

今回の大学院入試改革によって、本研究科では、従来のように学部時代の研究を深めたいという院生に加え、以下のような大学院生を求めています。

教員を数年経験したが、これまでの経験を踏まえて理論的な側面から自分の実践を振り返り、今後の教育実践の糧としたい。

社会人生活の中で、大学時代に学んだ専門性が十分生かせないと感じ、よりやりがいがある職業として教員を目指したい。

教育学部以外の文系や理系の専門学部（人文学部、理学部、農学部、情報学部、工学部など）の卒業見込みだが、初等教育に興味を持ったので、専門性を教育の方面で伸ばすとともに、小学校教員免許を取りたいと考えている。

アートやスポーツの世界で専門的に学んできたが、現役としてのキャリアに限界を感じた。それら  
の世界での自分の経験を生かし、未来を開く子ども達の教育に携わりたい。

- ・教育学研究科入試説明会 7月30日(土) 13:00～ 教育学部L棟 301教室
- ・今回の入試制度の改変や小学校教員免許取得プログラムについての詳しいことは教育学部学務係（[edu-grad@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:edu-grad@adb.shizuoka.ac.jp)）にお問い合わせください。

## 1. 本プログラムの概要

本プログラムは、教員免許を持たないが大学時代に身につけた専門性や社会人としてのキャリアを生かして小学校教員を志す者に対して、3年間の長期在学によって修士号の取得とともに小学校教員免許の取得を可能にするものです。教育学研究科のうち学校教育研究専攻を対象としています。

現在、小学校では教科の専門性が一つの課題となっており、特に理系に強い小学校教員の養成が課題となっています。本プログラムはこうした教育界のニーズに応えるものでもあります。教員免許を一切持たない学生の場合、教員免許取得のために学部の授業を概ね50-70単位取得します。なお、必要な単位数は、過去の大学での英語や体育の履修状況によっても異なります。

大学院入学者選抜に合格し、本プログラムを許可され、本研究科において所定の単位を取得すると、小学校二種または一種免許状の取得が可能になります。

ただし、修士号と免許取得の両立のために多くの単位履修が必要となります。履修・研究計画を綿密にたて、入学後は指導教員と十分相談の上、計画的に学習を進める必要があります。

## 2. 出願資格

本プログラムは、教育学研究科に合格した大学院生に対するプログラムですので、出願については、通常の教育学研究科入試に準じた資格が必要です。詳しくは、教育学研究科学生募集要項のp2の1.出願資格をご覧ください。

## 3. 修学年限

小学校教員免許取得プログラムにあっては、3年とします。長期履修制度とは異なり3年間の学費負担が必要です（在学可能期間は一般の教育学研究科と同じ4年です）。

## 4. 出願書類について

入試要項のp4～5に記載された出願書類に加えて、本別紙に添付された「小学校教員免許取得プログラム申請書」を提出してください

## 5. プログラム採用の可否

可否を決める「口述試験」とは別に、本プログラム採用についての面接を試験当日に行い、採用順位を付けます。合格者の中から採用順位に従い概ね6名の定員までを本プログラム学生として採用します。従って、合格しても本プログラムの対象院生として採用されないこともあります。

6. 大学院におけるモデル履修例（ただし、すでに大学で体育、日本国憲法などを履修している場合、下記の単位より少ない単位で免許が取れることもあります）。

学年	学部での取得単位	大学院の授業単位	合計
1年	31	8	39
2年	29	16	45
3年	9	6	15
合計	69	30	99

平成 年 月 日

静岡大学教育学研究科長 殿

氏 名 印  
保証人氏名 印

私は、大学院教育学研究科において小学校教員免許取得プログラム受講の申請を致します。

### 小学校教員免許取得プログラム申請書

ふりがな		男	志望専修
氏名		・	学校教育研究専攻
生年月日	年 月 日	女	専修
現住所	〒 TEL ( - )		
教員免許状の取得(取得見込)状況 (有の場合は、下記に種類を記入)	有 ・ 無		
学校教諭	種免許状 ( )	取得・取得見込	
学校教諭	種免許状 ( )	取得・取得見込	
学校教諭	種免許状 ( )	取得・取得見込	
幼稚園教諭	種免許状	取得・取得見込	
特別支援学校教諭 (養護学校教諭)	種免許状	取得・取得見込	

#### 記入上の注意

1. 小学校教員免許取得プログラムの受講を希望する者は、この申請書を提出すること。
2. 事項を併記してあるものは該当事項を で囲むこと。
3. 取得(取得見込)免許状の記入欄の( )は、中学校又は高等学校の教科名を記入すること。